

ボランティア

ボランティアを通じて、現地を知る。 社会に貢献する。

いろいろなボランティアを通して、フィリピンを知り、途上国の現状を知ることができます。恵まれた環境の日本で自分が生きていることを再認識し、今後の積極的な社会貢献へとつながります。

マングローブ植樹ボランティア

マングローブは、熱帯・亜熱帯の河口や干潟などの潮間帯に生い茂る植物の総称です。フィリピンではマングローブの減少が著しく、フィリピンも含め東南アジアではマングローブの回復は重要な課題です。ボランティアでは、地元の住民と一緒に植樹の環境活動を行っています。

現地住民との交流で
活きた英語を使って
会話をすることも勉強に
なります。



ジュンジュン先生



マングローブには大きな役割があり、貝類、魚類、両生類、鳥類の住処となり大切な食糧にも関係します。高波や津波から人々を守る役目や光合成で地球温暖化防止にも役立っています。

孤児院ボランティア

孤児院にいる子供たちは、貧困、身体・精神的虐待、育児放棄、親が犯罪加害者など、いろいろな事情で生活しています。ボランティアでは、洗濯や掃除をしたり、食事を与えたり、子供と遊んだりなど、施設の運営のお手伝いを行います。

語学レッスンだけではなく、ボランティア活動に参加した経験で意識が変わりました。



老人介護ボランティア

老人ホームで介護スタッフのアシスタントを行います。お話の相手、アクティビティのお手伝い、食事の準備、車椅子による移動、清掃、着替え、ベッドメイキング、入浴介護など多岐にわたります。介護ボランティアの知識や経験がない方でも参加が可能です。

ボホール島日帰りツアー

船でボホール島へ。血盟記念碑、スペイン統治時代の教会を巡り、メガネザル「ターシャ」に会った後は、屋形船でロボック川をクルージング。その後、214段の階段の先にある展望台からチョコレート・ヒルを眺めます。ボホールの見どころを詰め込んだ盛りだくさんのツアーで、ほとんどの旅行会社から申込みできます。



ジンベイザメに出会うツアー

ジンベイザメは大きいものでは体長約13mもある、世界で一番大きい魚。そのジンベイザメを間近で見られるのです。2011年夏以来、セブ島南端の街オスロブの近郊海域ではほぼ毎日目撃されていて、多い時には十匹以上も。サメといってもプランクトンを主食とし、人に危害を与えることはないので、一緒に泳ぐという夢のようなことも可能です。

